

# 第49号

発行日  
2022. 6. 2

# Super Highway

## JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

## 2022年度夏季手当等に関する申し入れ 申1号 第1回団体交渉

### 組合

- 2020年度の48億円の赤字と比べると約20億円改善している。2022年3月期の収支実績では運輸収入で対前年132.6%、営業利益で対前年126.2%と、昨年同時期よりも収入は回復している。組合員・社員が安全・安定輸送の確保と、お客様に安心してご利用いただく為に新型コロナウイルス感染症に関する対策などの努力を継続してきたからだ。
- 物価上昇が加速する中で、厳しい生活が続いている。将来への不安や、会社に対しての不満の声もバス関東本部に寄せられている。退職をした社員も少なくない。その結果、要員不足に陥っている事態に危機感を持つべきだ。
- この先も休日出勤や他支店への助勤等は余儀なくされる。組合員のモチベーション向上のためにも、最大限の「人への投資」をするべきだ。
- 再開されるインバウンドの対応や新規路線の開業に挑むためには、マンパワーが必要。それが無ければ単月で黒字という目標は達成できない。車両係においては、外部のバスやトラックの点検整備を行うなど、業績回復に向けて奮闘している。
- コロナウイルス感染症対応に対する特別手当に関しては、これまで家族と共に組合員が新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできたことが、職場内でクラスターを発生させていないことに繋がっている。マスクや消毒液等の購入も負担となっている。これまでの組合員と家族の努力に報いるべきだ。

**満額回答が必要だ！**

### 会社

- 昨年より業績は良くなっているが決して良い状況ではない。今年28億円+昨年48億円の累積赤字。とてつもない数字で、経営体力は危機的な状態である。
- 旅行需要はまだ回復しておらず先行きは不透明である。インバウンドが再開され期待をしているが、1日2万人来たとしても、コロナ前の20%でしかない。
- 夏季手当は現在の経営状況を考えながら判断しなければならない。体力に見合った回答しか出せない事は理解してもらいたい。
- 社員が減っている中、休日出勤のお願いをしている状況は理解している。要員不足であるので採用を再開している。皆さんの声に報いていく事を考えている。
- 職場でクラスターが発生していないのは、家族のサポートがあるからという事は理解している。その成果が表れているという認識である。

**業績は回復しているが、現状は非常に厳しい！**

**コロナ禍で会社の業績回復に貢献してきたのは組合員と家族だ！  
会社は満額回答で応えるべきだ！！**